



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東大

上場会社名 美津濃株式会社

コード番号 8022 URL <http://www.mizuno.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水野 明人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理財務担当

(氏名) 福本 大介

TEL 06-6614-8465

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	120,937	5.3	2,356	△48.2	2,661	△36.1	1,370	△41.3
24年3月期第3四半期	114,888	3.2	4,553	20.1	4,164	25.0	2,332	48.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,437百万円 (52.7%) 24年3月期第3四半期 1,596百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	10.99	—
24年3月期第3四半期	18.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	141,311	78,752	55.6
24年3月期	130,452	77,498	59.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 78,599百万円 24年3月期 77,336百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	167,000	7.8	5,000	△9.1	5,000	△11.7	2,200	△30.0	17.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年2月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	132,891,217 株	24年3月期	132,891,217 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	8,003,293 株	24年3月期	8,327,294 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	124,694,794 株	24年3月期3Q	124,573,097 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	8
	(3) 継続企業の前提に関する注記	9
	(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

※ なお、第3四半期決算の補足説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、当連結会計年度において、「グローバルビジネスの拡大」、「メーカー機能の強化」、「国内事業基盤の強化」を最重要課題として対処し、グローバルでのシェア拡大とQCD (Quality, Cost, Delivery) 各機能の強化により持続的な成長への基盤再構築に取り組んでまいりました。このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)における当社グループの経営成績は次のとおりです。

全セグメントでランニングシューズが業績を牽引し、スポーツアパレルの販売も堅調に推移したこと、セノー株式会社を連結範囲に加えたことなどにより、売上高は60億4千9百万円増収(5.3%増)の1,209億3千7百万円となりました。一方で、引き続き仕入コストの増加が売上総利益率の低下をまねき、広告宣伝費をはじめ経費増となったため、営業利益は21億9千7百万円減益(48.2%減)の23億5千6百万円を計上しました。経常利益は主に為替差益により営業外収支が改善したものの営業減益が影響して15億3百万円減益(36.1%減)の26億6千1百万円となりました。株価の回復により投資有価証券評価損が減少したものの、経常減益によって四半期純利益は9億6千2百万円減益(41.3%減)の13億7千万円に終わりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## ① 日本

第2四半期連結累計期間に引き続き、ランニングシューズやマルチトレーニング用アパレルが堅調に推移しました。第2回大阪マラソンの開催にあわせ、それぞれ新製品の投入を行って成果を上げました。また、吸湿発熱素材<ブレスサーモ>が、ラインアップの充実や効果的な広告宣伝を図ったことにより、機能性を一層アピールして売り上げを伸ばしました。

なお、第2四半期よりセノー株式会社を連結範囲に加えています。

この結果、売上高は62億1千4百万円増収(7.4%増)の904億2千7百万円となったものの、海外生産品の仕入コスト増による売上総利益率低下に経費増が影響し、営業利益は10億6千6百万円減益(41.2%減)の15億1千9百万円となりました。

## ② 欧州

ロンドン五輪におけるミズノブランドの露出により、ランニングシューズやランニング用アパレルは堅調に推移しました。また、ハンドボールなどインドアスポーツ品でも健闘しました。一方、ゴルフクラブは、カスタムフィッティングのビジネスモデルが一層市場に浸透したものの、個人の消費抑制の傾向が他ブランドとの競争を激化させました。さらに、アジアから輸入する主力商品のコスト増が利益を圧迫しました。

この結果、売上高は3億1百万円減収(4.1%減)の70億4千万円となり、営業損益は2億1千3百万円悪化し5千7百万円の営業損失となりました。

なお、第3四半期連結累計期間における、英ポンドの為替換算レートは128.02円(前年同期127.37円)、ユーロの為替換算レートは103.22円(前年同期111.33円)でした。

## ③ 米州

シェアアップを図るランニングシューズや、他ブランドとの違いを訴求するゴルフクラブのカスタムフィッティングにおいて、強みが発揮できるチャネル政策を掲げ一層の拡販を推進しました。また、ベースボールに加えバレーボールやサッカーなどチームスポーツ品でも堅調に推移しました。しかしながら、海外生産品の仕入コスト増と経費増が利益を圧迫しました。

この結果、売上高は9億2千5百万円増収（5.8%増）の169億1千2百万円となりましたが、営業利益は5億7千8百万円減益（47.1%減）の6億5千1百万円となりました。

なお、第3四半期連結累計期間における、米ドルの為替換算レートは79.07円（前年同期80.34円）、カナダドルの為替換算レートは78.81円（前年同期81.95円）でした。

## ④ アジア・オセアニア

他ブランドとの競争激化が進むなか、事業のコアであるランニングシューズやスポーツアパレルを中心に、マーケティング活動を強化し需要拡大を図りました。しかしながら、各地域の経済成長は鈍化したため、十分な成果を上げることができませんでした。また、このセグメントにおいても、仕入コスト増や経費増が利益を押し下げました。

この結果、アジア・オセアニアの売上高は7億8千9百万円減収（10.7%減）の65億5千6百万円となり、営業利益は2億9千8百万円減益（55.5%減）の2億3千9百万円となりました。

なお、第3四半期連結累計期間における、台湾ドルの為替換算レートは2.66円（前年同期2.75円）、中国元の為替換算レートは12.52円（前年同期12.35円）、香港ドルの為替換算レートは10.19円（前年同期10.33円）、豪ドルの為替換算レートは81.72円（前年同期83.88円）でした。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ108億5千8百万円増加し1,413億1千1百万円となりました。第2四半期よりセノー株式会社を連結の範囲に加えたことを主な要因として、現金及び預金（17億1千1百万円の増加）、土地（21億5千3百万円の増加）、のれん及びその他無形固定資産（76億1千万円の増加）などが増加したことによるものです。一方で、受取手形及び売掛金は季節的な要因により12億2千2百万円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ96億5百万円増加し625億5千9百万円となりました。セノー株式会社の株式取得資金の調達目的などにより長期借入金（64億4千万円の増加）が増加したことや、資産の増加と同様の理由で繰延税金負債（固定）（26億2千3百万円の増加）が増加したことが主な要因です。一方で、支払手形及び買掛金は季節的な要因により16億7千9百万円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ12億5千3百万円増加し787億5千2百万円となりました。主な要因は、繰延ヘッジ損益の増加8億6千2百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億3千6百万円でした。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の59.3%から55.6%へと3.7ポイント低下しました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成24年8月8日公表の連結業績予想数値を修正しております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成25年2月8日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

セノー株式会社は、重要性が増したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めています。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更していません。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,987	13,698
受取手形及び売掛金	35,605	34,382
有価証券	756	756
商品及び製品	24,773	24,930
仕掛品	893	822
原材料及び貯蔵品	1,357	2,094
繰延税金資産	2,156	1,928
その他	4,244	4,562
貸倒引当金	△928	△916
流動資産合計	80,845	82,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,493	17,946
土地	15,171	17,324
その他(純額)	2,307	2,208
有形固定資産合計	35,972	37,479
無形固定資産		
のれん	—	1,987
その他	1,705	7,328
無形固定資産合計	1,705	9,315
投資その他の資産		
投資有価証券	7,421	7,541
繰延税金資産	1,796	1,743
その他	5,759	5,845
貸倒引当金	△3,047	△2,875
投資その他の資産合計	11,929	12,255
固定資産合計	49,606	59,050
資産合計	130,452	141,311

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,079	16,399
短期借入金	5,103	7,961
1年内返済予定の長期借入金	1,800	1,800
未払法人税等	721	724
返品調整引当金	229	229
その他	9,795	8,497
流動負債合計	35,729	35,612
固定負債		
長期借入金	9,630	16,070
繰延税金負債	94	2,717
再評価に係る繰延税金負債	2,830	2,830
退職給付引当金	1,321	1,978
資産除去債務	234	248
その他	3,113	3,101
固定負債合計	17,224	26,946
負債合計	52,954	62,559
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	26,137	26,137
資本剰余金	31,197	31,209
利益剰余金	27,712	27,836
自己株式	△3,027	△2,910
株主資本合計	82,020	82,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	864	1,000
繰延ヘッジ損益	△142	719
土地再評価差額金	△1,145	△1,145
為替換算調整勘定	△4,259	△4,248
その他の包括利益累計額合計	△4,683	△3,673
少数株主持分	161	152
純資産合計	77,498	78,752
負債純資産合計	130,452	141,311



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	114,888	120,937
売上原価	66,552	71,185
売上総利益	48,335	49,751
販売費及び一般管理費	43,782	47,395
営業利益	4,553	2,356
営業外収益		
受取利息	109	186
受取配当金	152	152
為替差益	—	372
その他	267	318
営業外収益合計	529	1,029
営業外費用		
支払利息	248	247
売上割引	315	275
為替差損	206	—
その他	148	201
営業外費用合計	918	725
経常利益	4,164	2,661
特別利益		
固定資産売却益	3	221
退職給付制度改定益	56	—
関係会社清算益	17	—
その他	0	—
特別利益合計	77	221
特別損失		
固定資産売却損	0	11
固定資産除却損	4	2
投資有価証券評価損	164	24
早期退職特別加算金	—	83
災害による損失	12	—
その他	—	9
特別損失合計	182	131
税金等調整前四半期純利益	4,060	2,750
法人税等	1,661	1,332
少数株主損益調整前四半期純利益	2,398	1,418
少数株主利益	65	48
四半期純利益	2,332	1,370

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,398	1,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188	136
繰延ヘッジ損益	△195	862
土地再評価差額金	353	—
為替換算調整勘定	△771	20
その他の包括利益合計	△802	1,019
四半期包括利益	1,596	2,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,551	2,379
少数株主に係る四半期包括利益	44	57

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。